

平成30年度

島根大学大学院人文社会科学研究所修士課程

言語・社会文化専攻言語文化コース

(第1次) 入試問題

【 日本語学 】

注 意

- 1 問題紙 1 ページ, 解答用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は, 持ち帰ること。

I. 次の2つの資料がどのような言語資料であることを説明したうえで、両資料から日本語の音韻にどのような変遷があったことがうかがえるかを述べなさい。(10行程度)

①あめ(雨) うち(地) ほし(星) そら(空) やま(山) かは(川) みね(峰) たに(谷)  
くも(雲) きり(霧) むろ(室) こけ(苔) ひと(人) いぬ(犬) うへ(上) すゑ(末)  
ゆわ(硫黄) さる(猿) おふせよ(生ふせよ) えのえを(榎の枝を) なれみて(馴れ居て)

②いろはにほへと ちりぬるを わがよたれそ つねならむ うみのおくやま けふ  
こえて あさきゆめみし ゑひもせす

II. 西日本と東日本とでは言語上様々な相違が観察される。そのうち、文法の面で東西の対立が見られる現象について説明しなさい。(10行程度)

III. 次の事項について簡潔に説明しなさい。(各2行程度)

1 弁別的特徴

2 モダリティ

3 語種

4 表語文字

5 周圈的分布

6 『蜷縮涼鼓集』